

京丹後市文化財保存活用地域計画 (案)

令和4年（2022）6月15日

京丹後市教育委員会

目 次

序章	1
1. 計画作成の背景と目的	1
2. 地域計画の位置付け	2
3. 計画期間	3
4. 計画作成の経緯・体制	4
5. 用語の定義（地域計画の対象とする範囲）	6
 第1章 京丹後市の概要	7
1. 自然的・地理的環境	7
1-1. 京丹後市の位置・面積	7
1-2. 地名・地区区分	8
1-3. 自然環境の特性	10
(1) 地形・地質	10
(2) 水利・水系	14
(3) 気候	14
(4) 生態系	15
(5) 景観	18
2. 社会的状況	20
2-1. 人口動態	20
2-2. 教育	23
2-3. 産業	25
2-4. 土地利用	30
2-5. 交通	31
2-6. 法規制	32
2-7. 美しいふるさとづくりの取り組み	35
2-8. 山陰海岸ジオパークの取り組み	36
2-9. 市民による地域資源ガイド活動	41
3. 歴史的背景	42
3-1. 先史	42
3-2. 古代	45
3-3. 中世	46
3-4. 近世	48
3-5. 近現代	52

第2章 文化財の概要 59

1. 既往の文化財把握調査の概要	59
2. 文化財の指定等の状況	61
2-1. 指定等文化財	61
2-2. 日本遺産の認定	64
3. 未指定文化財の概要	66
4. 文化財の特徴	68
4-1. 有形文化財	68
4-2. 無形文化財	72
4-3. 民俗文化財	72
4-4. 記念物	76
4-5. 伝統的建造物群	78
4-6. 文化的景観	78
4-7. 環境保全地区	78

第3章 歴史文化の特徴と関連文化財群 79

1. 地球の胎動がもたらす恵みと脅威	82
1-1. 地球の営みが生んだ半島の景観と恵み	82
1-2. 半島に展開する海・里・山の生業	84
1-3. 災害の歴史と記憶を伝える	86
2. 日本海の玄関口での交流・交易	88
2-1. 「丹後王国」の成立から興隆	88
2-2. 半島に語り継がれた豊かな伝説・伝承	90
2-3. 「一色領国」から「海の代官所」へ	92
3. ものづくりのふるさと丹後	94
3-1. 「気張る」丹後人の気質とものづくりのふるさと	94
3-2. 「丹後ちりめん」をめぐる人と技	96
4. 多様な信仰・民俗と百歳長寿を支える食文化	98
4-1. 花開いた仏教文化	98
4-2. 暮らしを彩る祭礼・芸能	100
4-3. 半島と共に生きる食の知恵	102
コラム 「日本のふるさと丹後～可能性に満ち溢れた丹後の歴史文化」	104

第4章 文化財の保存・活用に関する将来像・基本目標 107

第5章 文化財の保存・活用に関する課題・基本方針 109

1. 包括的な課題	109
1-1. 「光」の価値を明らかにするための課題	109
1-2. 「光」を後世につなぐための課題	109
1-3. 「光」を活かすための課題	111

1－4. 「光」を伝える人を育てるための課題	112
1－5. 「光」をつなぐ体制をつくるための課題	112
2. 関連文化財群ごとの課題	113
3. 文化財の保存・活用の基本方針	117

第6章 文化財の保存・活用に関する措置	119
---------------------	-----

1. 包括的な措置	119
2. 関連文化財群ごとの措置	125

第7章 文化財の防災・防犯の推進	133
------------------	-----

1. 文化財防災・防犯の推進に向けた背景	133
2. 京丹後市における文化財防災・防犯の現状	134
3. 「京丹後市地域防災計画」への位置づけ	134
3－1. 災害予防計画	134
3－2. 災害応急対策計画	135
3－3. 災害復旧・復興計画	135
4. 文化財の防災・防犯に関する課題	136
4－1. 文化財の災害予防対策・防犯対策の拡充	136
4－2. 災害発生時の対応の明確化	136
4－3. 日常的な防犯パトロールの導入	136
5. 文化財の防災・防犯に関する方針	136
6. 文化財の防災・防犯に関する措置	137
7. 文化財の防災・防犯に関する体制づくり	138

第8章 文化財の保存・活用の推進体制	139
--------------------	-----

1. 計画の進捗管理と自己評価の方法（推進協議会の設置）	139
2. 京丹後市の推進体制	140

参考資料	145
------	-----

参考資料1 指定等文化財一覧	145
参考資料2 関連文化財群リスト	157
参考資料3 計画の骨子	175